

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	今後も「理念」「職員の心得」などを具体的に実践していくために、毎月の目標等を掲げると共に、職員個々に頑張った事や反省点などを共有し、更なる取り組みにつなげていく予定です。	今後も、「基本理念」「職員の理念」「職員の心得」をさらに理解を深め、具体的に実践していくために、毎月目標を掲げ、振り返りを行うことで、職員個々が更なる取り組みへとつなげていきます。	今後も業務前には「基本理念・職員の理念・職員の心得」を復唱し、毎月の職員会議で目標を掲げると共に、職員個々に頑張った事、反省点などを共有する機会を持ち、常に地域の一員としての活動も継続し、感謝の気持ちで、日々取り組んでいきます。	12 ヶ月
2	2 (2)	今後も地域行事や保育所の行事等に積極的に参加していきたいと考えており、ホームと地域行事等を盛り込んだ年間予定表を作成し、事前に参加者を募ったり、職員の勤務体制を調整していければと考えています。	今後更に地域行事や保育所の行事等に積極的に参加できるように、年間予定表を作成し、職員の勤務体制の調整とご家族の参加を事前に募ることで、更なる交流ができる取り組みを行います。	地域行事や保育所の行事にホームの行事を盛り込んだ年間予定表として作成し、運営推進会議などで報告と確認もでき、事前に参加者を募ることで、職員の勤務体制の調整もできるようになり、ご家族様にも参加頂き家族交流も今まで以上の取り組みを行ってまいります。	12 ヶ月
3	35 (13)	自然災害として「風対策」が重要になっており、今後も窓ガラス対策(フィルムや雨戸の設置等)を検討していく予定です。災害に応じて公民館に避難予定になっており、今後も利用者と一緒に公民館までの散歩を企画し、避難所要時間の参考にすると共に、備蓄の数や品目を増やしていきたいと考えております。	自然災害対策として、「風対策」で窓ガラス保護を検討し、あらゆる自然災害を想定した避難を考え避難場所となっている所までの所要時間の把握に努めていきます。また、今後も備蓄の数や品目も検討し増やしていきたいと考えています。	今後は、自然災害にも力を入れ、この施設の立地では、「風対策」が重要と考えており、窓ガラスの保護対策としてフィルムや雨戸の設置等を検討します。また、災害に応じて小学校や公民館が避難場所になっているため、利用者と一緒に避難場所へドライブ(散歩)を企画し、避難所要時間の把握に努めます。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月